

# 新たな入院基本料等の評価体系の見直しの影響について

## 平成 30 年度 診療報酬改定影響調査結果（第 1 報）

### 要旨

本調査は、平成 30 年診療報酬改定が会員病院に与える影響について調査・検証することを目的とし、改定前（平成 30 年 3 月 1 日時点）と改定後（経過措置終了の平成 30 年 10 月 1 日時点）の各種入院料の届出状況を比較することにより影響を検証することとした。会員 875 病院のうち 567 病院が回答し（回収率：65%）、うち有効回答の 559 病院（64%）を対象とした。調査の結果、7 対 1 一般病棟入院基本料の届出状況は「改定前」の 267 病院（79413 床）から 10 病院、2024 床減って（▲2.5%）、「改定後」は 257 病院（77389 床）となり、新たに設けられた 7 対 1 と 10 対 1 の中間の評価である急性期一般入院料 2 に 8 病院（1608 床）、急性期一般入院料 3 に 3 病院（438 床）が届け出ている。また、一般病棟入院基本料の重症度、医療・看護必要度の評価方法については、現行の評価方法 I を届け出た病院の割合が 80%、診療実績データによる評価方法 II を届け出た病院が 20%を占めていた。

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の届出状況は「改定前」の 231 病院（8474 床）から 11 病院、622 床増え、「改定後」は 242 病院（9096 床）であった。地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料は区分の変更があり 200 床以上の病院では入院料 1 から 2 へ変更になったものの 200 床未満の病院では上位の入院料の届け出を行った病院が 48 病院あった。

# 目次

調査目的 .....	3
調査対象 .....	3
調査方法と調査項目 .....	3
回収率と有効回答 .....	3
調査結果 .....	4
(1) 一般病棟入院基本料の届出状況 .....	4
(2) 急性期一般入院料の届出状況 .....	4
(3) 重症度、医療・看護必要度の状況 .....	5
(4) 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の届出状況 .....	6
(5) 回復期リハビリテーション病棟入院料の届出状況 .....	7
(6) 療養病棟入院基本料の届出状況 .....	8
まとめ .....	9
謝辞 .....	9
分析メンバー（診療報酬対策委員会 改定影響小委員会 構成員） .....	10
付表（入院基本料） .....	11
付表（特定入院料） .....	12
参考資料（各入院料の再編・統合イメージ） .....	13

## 調査目的

公益社団法人全国自治体病院協議会の診療報酬対策委員会では、診療報酬改定が行われる都度、会員病院に与える影響について調査・検証を行っている。平成30年度診療報酬改定では、入院医療の基本的な診療に係る評価（基本部分）と診療実績に応じた段階的な評価（実績部分）との2つの評価を組み合わせた評価体系に再編・統合され、それらの届出に係る経過措置が9月30日まで設けられており、4月に改定の影響を検証することが困難であった。そのため、経過措置終了後の10月の状況を調査・検証することとした。

まず、新たな入院基本料等の評価体系の見直しの影響について、会員病院が10月1日時点で地方厚生（支）局長に届け出た結果を「第1報」として取りまとめたので報告する。

なお、会員病院の収入（10月診療実績）に与えた影響率については「第2報」として追って報告する。

## 調査対象

平成30年10月1日時点で全国自治体病院協議会に加入しているすべての会員病院（875病院）を調査対象とした。

## 調査方法と調査項目

全国自治体病院協議会事務局より対象病院に自己記入式調査票を配付し、調査を依頼した。

調査項目は、平成30年3月1日と平成30年10月1日時点（9月30日経過措置終了後）の各種入院料の届出状況及び要件に係る項目とし、調査票にない項目は会員病院の作業簡略化を図る観点から「会員病院基礎情報」及び「全自病協データベース」の最新データを利用した。

## 回収率と有効回答

会員病院875病院のうち、回答は567病院、回収率は65%。そのうち新規開院やデータの不備等により対比が困難な8病院を除く有効回答は559病院（64%）であった。

# 調査結果

## (1) 一般病棟入院基本料の届出状況

一般病棟入院基本料は、平成 30 年度改定により基本部分と実績部分の 2 つの評価を組み合わせた評価体系に再編・統合された。急性期一般入院料 1 の届出病院数は、改定前の 7 対 1 の 267 病院から 10 病院減って 257 病院となり、新たに設けられた 7 対 1 と 10 対 1 の中間の評価である入院料 2 には 8 病院、入院料 3 には 3 病院が届け出ている（表 1）。

表 1 H30 年度診療報酬改定前後における一般病棟入院基本料の届出病院数の対比 (病院数)

一般病棟 入院基本料	H30年10月													
	急性期一般							地域一般			特別	その他	総計	
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3				
7 対 1 <sup>※1</sup>	256	8	2		1								267	
H 30 年 3 月	1 0 対 1	1		1 <sup>※2</sup>	64	53	42	27			1		2	191
	1 3 対 1								5	4	1			10
	1 5 対 1								2	2	21		1	26
	特別											3		3
	その他									1			61	62
	総計	257	8	3	64	54	42	27	7	7	23	3	64	559

※1 病棟群（7対1と10対1の混在）は7対1に含めた。

※2 3月時点では10対1を届出し、基準を満たしたため急性期一般1に移行したが、その後基準を満たせず急性期一般3に移行。

(注) 「その他」は一般病棟入院基本料以外の届出病院。

## (2) 急性期一般入院料の届出状況

急性期一般入院料は回答病院の 81%（455/559 = 0.81）が届け出ており今回改定の影響を大きく受ける項目であった。経過措置終了後の 10 月 1 日時点の状況を病床数で比較した（図 1）。

入院料 1 の届出病床数は、改定前の 7 対 1 の 79413 床から 2024 床減って（▲2.5%）、77389 床となり、入院料 2 が 1608 床、入院料 3 が 438 床であった。変更の理由は、重症度、医療・看護必要度が満たせなかったことによるものであった。また、改定前の 10 対 1 は 19967 床（191 病院）から主として入院料 4 へ 7439 床（64 病院）、入院料 5 へ 6662 床（54 病院）、入院料 6 へ 3555 床（42 病

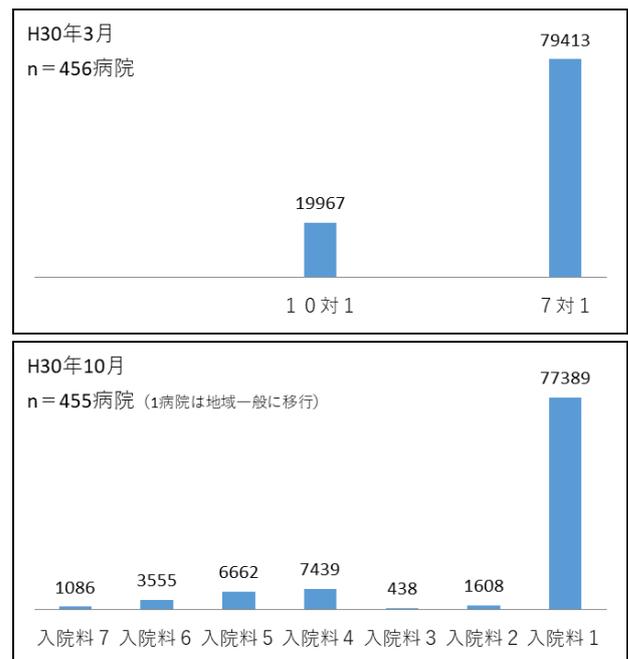


図 1 H30 年度診療報酬改定前後における一般病棟入院基本料の届出病床数

院)、入院料 7 へ 1086 床 (27 病院) 移行した。改定前の 10 対 1 は重症度、医療・看護必要度により段階的に加算措置があったが、改定により入院料区分に変更されたため、重症度、医療・看護必要度による区分に応じ移行したと考えられる。

急性期一般入院料は全体で 99380 床 (3 月時点) から 1203 床減って (▲1.2%)、98177 床 (10 月) であった。

### (3) 重症度、医療・看護必要度の状況

一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の見直し及び入院医療の評価体系の見直し等に伴い、施設基準に定められている該当患者割合要件について見直しが行われた。前述のとおり、今回改定の影響を大きく受ける項目であり、改定前の 7 対 1 と経過措置終了後の急性期一般入院料 1～3 の重症度、医療・看護必要度の状況について比較した (表 2)。

表 2 急性期一般入院料 1～3 の重症度、医療・看護必要度

H30 年 3 月	n	改定前の評価方法		H30 年 10 月	評価方法 I			評価方法 II		
		平均値	基準		n	平均値	基準	n	平均値	基準
7 対 1	255	30.2%	25%	入院料 1	185	35.3%	30%	60	31.7%	25%
				入院料 2	1*	29.2%	27%	7	27.3%	24%
				入院料 3	—	—	—	3	27.5%	23%

\* 入院料 2 を届け出た病院のうち 1 病院は許可病床 200 床未満の経過措置期間のため I で測定。

平成 30 年 3 月 1 日時点で 7 対 1 を届け出た 267 病院のうち小児患者、短期滞在手術算定患者等の評価対象外の患者が多く占める 10 病院、未入力 of 2 病院を除いた 255 病院の重症度、医療・看護必要度の平均値は 30.2% であった。平成 30 年 10 月 1 日時点で急性期一般入院料 1～3 を届け出た 268 病院のうち 3 月と同様に評価対象外の患者が多く占める 10 病院、未入力 of 2 病院を除いた 256 病院の重症度、医療・看護必要度を見ると、現行の評価方法 I で届け出た病院の平均値が 35.3%、今回改定で新たに設けられた診療実績データによる評価方法 II の届け出が 60 病院、平均値は 31.7% であった。入院料 2 と 3 は n が少ないことと季節的な変動が大きく影響したことに留意する必要がある。

また、入院料 1 の評価方法を I で届け出た 185 病院について、重症度、医療・看護必要度のデータ区間を 2% 刻みで見た病院数は図 2 のとおりであった。30% より大きく 32% 以下の範囲が 24 病院、32% より大きく 34% 以下の範囲が最も多く 56 病院であり、全体の 3 割を占めていた。

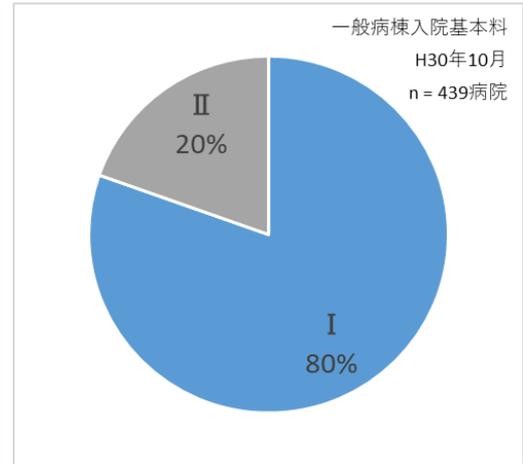
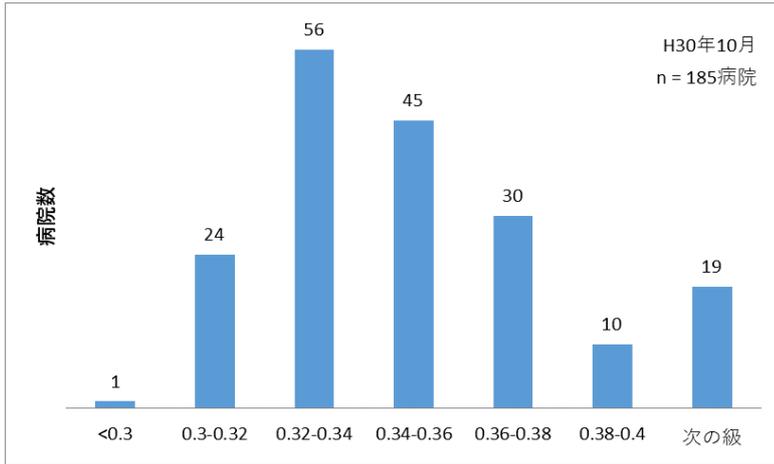


図2 急性期一般入院料1を評価方法Iで届け出た病院の重症度、医療看護必要度

図3 一般病棟入院基本料の届け出た評価方法の割合

なお、一般病棟入院基本料全体では、現行の評価方法Iを届け出た病院が353病院、診療実績データによる評価方法IIを届け出た病院が86病院であった（図3）。

#### (4) 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の届出状況

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料も実績部分と基本部分に再編・統合された。改定後の入院料1は施設基準が許可病床200床未満の病院に限られており、改定前の入院料1を届け出ている200

床未満の34病院のうち20病院が上位の入院料へ、管理料1は66病院のうち17病院が上位の管理料を届け出た（表3）。

表3 H30年度診療報酬改定前後における地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の届出病院数の対比 (病院数)

地域包括ケア		H30年10月											
		入院料				管理料				その他	総計		
		許可病床	1	2	3	4	1	2	3	4			
H 30 年 3 月	入院料1	200床未満	20	14								34	
		200床以上		94								94	
	入院料2	200床未満	2	1		1		1				5	
		200床以上		18		1						19	
	管理料1	200床未満	2	1	2		17	42	1			1	66
		200床未満					4	7	1	1			13
その他	200床未満	2				1	5				115	123	
	200床以上		4								201	205	
総計			26	132	2	2	22	55	2	1	317	559	

(注) ・特定地域を含む。1病院は入院料と管理料の両方を届け出ており入院料に含めた。

・「その他」は地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料以外の届出病院。

地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料は242病院が届け出ており、回答病院の43.2%を占めていた。病床数で見ると8474床から622床増えて9096床であった（図4）。

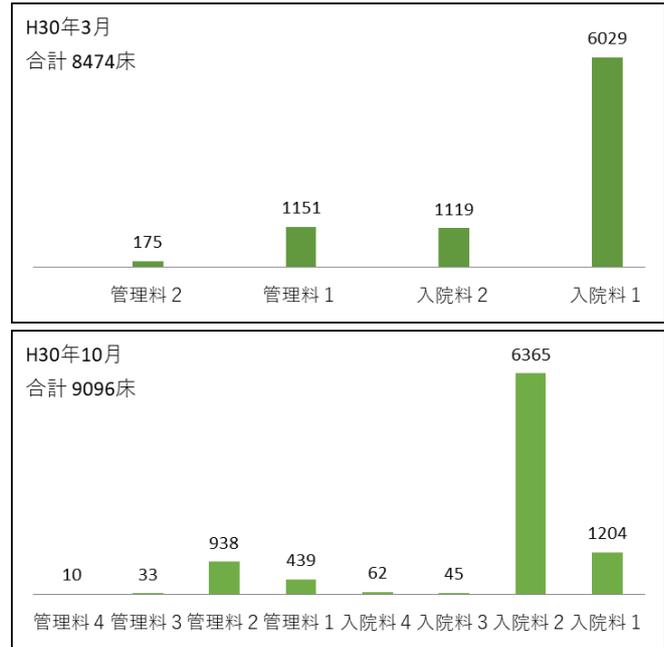


図4 H30年度診療報酬改定前後における地域包括ケア病棟入院料料・入院医療管理料の届出病床数

### (5) 回復期リハビリテーション病棟入院料の届出状況

回復期リハビリテーション病棟入院料も実績部分と基本部分に再編・統合され、入院料1は改定前の32病院から7減5増により30病院であった（表4）。

表4 H30年度診療報酬改定前後における回復期リハビリテーション病棟入院料の届出病院数の対比 (病院数)

回復期リハビリテーション病棟入院料		H30年10月							その他	総計
		入院料								
		1	2	3	4	5	6			
H30年3月	入院料1	25	7						32	
	入院料2	3	1	26	6				36	
	入院料3	2		1		1	2	1	7	
	その他						1	483	484	
	総計	30	8	27	6	1	3	484	559	

(注) ・複数の入院料を届け出た病院（1と2又は1と3）は上位（1）でカウント。  
 ・「その他」は回復期リハビリテーション病棟入院料以外の届出病院。

新たに設けられた入院料 2 の病院は 8 病院であった。改定後の入院料 3 は、改定前の入院料 2 の 36 病院から 10 減 1 増により 27 病院であった。回復期リハビリテーション病棟入院料は全体で 3627 床（3 月時点）から 61 床増えて 3688 床（10 月）であった（図 5）。

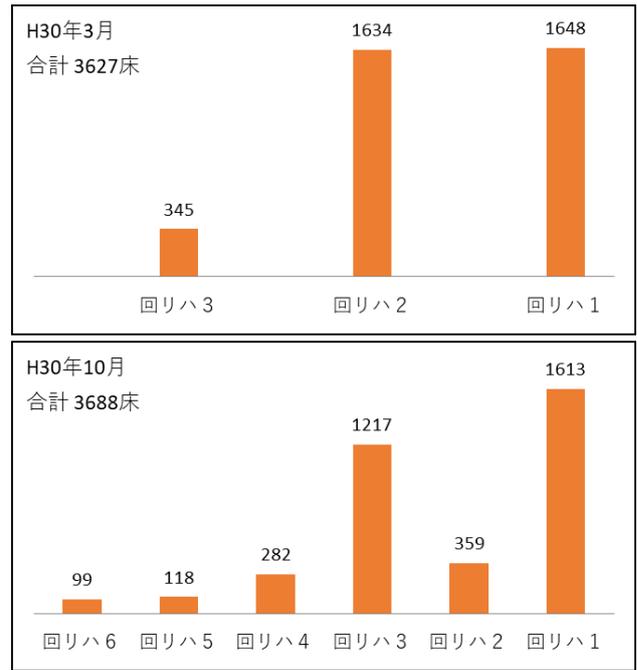


図 5 H30 年度診療報酬改定前後における回復期リハビリテーション病棟入院料の届出病床数

## (6) 療養病棟入院基本料の届出状況

療養病棟入院基本料も実績部分（医療区分 2・3 該当患者割合）と基本部分（看護職員配置 20 対 1）に再編・統合され、届出病院数は改定前の療養病棟入院基本料 1（20 対 1）の 52 病院から 6 減 6 増により同数の 52 病院であった（表 5）。療養病棟入院基本料 2（25 対 1）は改定前の 40 病院から 7 減 6 増により 39 病院であった。また、今回改定で介護療養型医療施設（介護療養病床）の転換先として創設された介護医療院を届け出た施設はなかった。

表 5 H30 年度診療報酬改定前後における療養病棟入院基本料の届出病院数の対比  
(病院数)

療養病棟 入院基本料		H30年10月						
		入院料		経過措置 (90/100)	経過措置 (80/100)	特別	その他	総計
		1	2					
H 3 0 年 3 月	入院料 1 (20対1)	46	4	1			1	52
	入院料 2 (25対1)	5	33	1			1	40
	経過措置 (95/100)		1	9				10
	特別					4		4
	その他	1	1	1			450	453
	総計	52	39	12	0	4	452	559

(注) ・1病院は3月時点で入院料 1 と経過措置 (95/100) の両方を届け出ており入院料 1 に含めた。

・「その他」は療養病棟入院基本料以外の届出病院。

なお、参考にすべての入院料の届出病院数と病棟数と病床数の状況を付表（11 ページ以降）に示す。

## まとめ

平成 30 年度診療報酬改定は、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年とそれ以降の社会・経済の変化や技術革新への対応に向けた改定となっており、基本的視点のひとつの「地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進」の中の「医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価」を強力に進める内容であった。

今回、会員病院の経過措置後の届出状況を調査した結果、7 対 1 は多くが改定前の入院料とほぼ同等の入院料を届け出ており、現行の評価方法 I を届け出た病院の割合が 80%を占めていた。地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料は区分の変更があり 200 床以上の病院では入院料 1 から 2 へ変更になったものの 200 床未満の病院では上位の入院料の届け出を行った病院が 48 病院あった。全体の届け出病床数は 622 床増加した。

引き続き、会員病院の収入（10 月診療実績）に与えた影響を調査し、本影響率調査の最終結果を「第 2 報」として追って報告する。

## 謝辞

ご協力を頂いた多くの会員施設関係者、また、本調査の分析についてご指導いただいた奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授今村知明先生に深く感謝申し上げます。

## 分析メンバー（診療報酬対策委員会 改定影響小委員会 構成員）

委員長	森田眞照（市立ひらかた病院長）
委員長代行	今井康陽（市立池田病院総長）
委員	仙賀 裕（茅ヶ崎市立病院長），阪本研一（美濃市立美濃病院長），石原 淳（横浜市立市民病院長），小阪真二（島根県立中央病院長），小野 剛（市立大森病院長），中村昌樹（公立森町病院長），北村 立（石川県立高松病院長），林 拓男（公立みつぎ総合病院名誉院長・顧問）
担当副会長	原 義人（青梅市立総合病院 事業管理者兼院長）
担当常務理事	吉嶺文俊（新潟県立十日町病院長），籠本孝雄（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター長）
アドバイザー	今村知明（奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授）

## 付表（入院基本料）

	H30年3月			H30年10月				
	届出入院料	届出病院数	届出病棟数	届出病床数	届出入院料	届出病院数	届出病棟数	届出病床数
A100 一般病棟入院基本料	7対1入院基本料	264	1790	79078	急性期一般入院料1	257	1755	77389
	7対1入院基本料（病棟群）	3	8	335	急性期一般入院料2	8	36	1608
					急性期一般入院料3	3	10	438
	10対1入院基本料	192	418	19585	急性期一般入院料4	64	161	7439
	10対1入院基本料（病棟群）	3	8	382	急性期一般入院料5	54	145	6662
					急性期一般入院料6	42	70	3555
					急性期一般入院料7	27	28	1086
	13対1入院基本料	10	10	434	地域一般入院料1	7	7	294
					地域一般入院料2	7	7	298
	15対1入院基本料	26	33	1487	地域一般入院料3	23	30	1348
特別入院基本料	3	3	48	特別入院基本料	3	3	48	
A101 療養病棟入院基本料	療養病棟入院基本料1（20対1）	52	58	2451	療養病棟入院料1	52	58	2363
					療養病棟入院料2	39	39	1387
	療養病棟入院基本料2（25対1）	40	41	1451	経過措置1（療養2の90/100）	12	12	447
	経過措置（療養2の95/100）	11	11	363	経過措置2（療養2の80/100）			
	特別入院基本料	4	4	106	特別入院基本料	4	4	106
介護保険					介護医療院Ⅰ型（介護保険）			
					介護医療院Ⅱ型（介護保険）			
	介護療養型医療施設（介護保険）	14	13	304	介護療養型医療施設（介護保険）	15	14	327
	介護療養型老人保健施設（介護保険）	1		40	介護療養型老人保健施設（介護保険）	1		40
A102 結核病棟入院基本料 <small>※一般病棟と結核病棟を併せて1看護単位とする場合を除く。</small>	7対1入院基本料	25	20	361	7対1入院基本料	26	21	417
	10対1入院基本料	15	14	483	10対1入院基本料	14	13	404
	13対1入院基本料				13対1入院基本料			
	15対1入院基本料	1	1	30	15対1入院基本料	1	1	30
	18対1入院基本料				18対1入院基本料			
	20対1入院基本料				20対1入院基本料			
	特別入院基本料	1	1	10	特別入院基本料	1	1	10
A103 精神病棟入院基本料	10対1入院基本料	11	11	330	10対1入院基本料	12	13	366
	13対1入院基本料	25	30	1359	13対1入院基本料	22	23	1020
	15対1入院基本料	51	123	6142	15対1入院基本料	51	122	6174
	18対1入院基本料				18対1入院基本料			
	20対1入院基本料				20対1入院基本料			
	特別入院基本料				特別入院基本料	1	1	20
A104 特定機能病院入院基本料	一般病棟の場合 7対1入院基本料	3	40	1900	一般病棟の場合 7対1入院基本料	3	40	1927
	一般病棟の場合 10対1入院基本料				一般病棟の場合 10対1入院基本料			
	結核病棟の場合 7対1入院基本料	1	1	14	結核病棟の場合 7対1入院基本料	1	1	14
	結核病棟の場合 10対1入院基本料				結核病棟の場合 10対1入院基本料			
	結核病棟の場合 13対1入院基本料				結核病棟の場合 13対1入院基本料			
	結核病棟の場合 15対1入院基本料				結核病棟の場合 15対1入院基本料			
	精神病棟の場合 7対1入院基本料				精神病棟の場合 7対1入院基本料			
	精神病棟の場合 10対1入院基本料	1	1	49	精神病棟の場合 10対1入院基本料	1	1	49
	精神病棟の場合 13対1入院基本料	1	1	40	精神病棟の場合 13対1入院基本料	1	1	40
精神病棟の場合 15対1入院基本料				精神病棟の場合 15対1入院基本料				
特別入院基本料				特別入院基本料				
A105 専門病院入院基本料	7対1入院基本料	7	59	2441	7対1入院基本料	6	53	2200
	10対1入院基本料	2	9	439	10対1入院基本料	2	14	647
	13対1入院基本料				13対1入院基本料			
A106 障害者施設等入院基本料	7対1入院基本料	4	10	368	7対1入院基本料	4	10	362
	10対1入院基本料	14	16	735	10対1入院基本料	13	16	738
	13対1入院基本料	2	2	110	13対1入院基本料	2	2	110
	15対1入院基本料				15対1入院基本料			

## 付表（特定入院料）

	H30年3月			H30年10月		
	届出入院料	届出病院数	届出病床数	届出入院料	届出病院数	届出病床数
A300	救命救急入院料1	55		救命救急入院料1	58	1005
	救命救急入院料2	8		救命救急入院料2	8	75
	救命救急入院料3	26		救命救急入院料3	23	478
	救命救急入院料4	16		救命救急入院料4	16	148
A301	特定集中治療室管理料1	18		特定集中治療室管理料1	18	164
	特定集中治療室管理料2	19		特定集中治療室管理料2	20	233
	特定集中治療室管理料3	77		特定集中治療室管理料3	73	535
	特定集中治療室管理料4	16		特定集中治療室管理料4	16	118
A301-2	ハイケアユニット入院医療管理料1	97		ハイケアユニット入院医療管理料1	103	1047
	ハイケアユニット入院医療管理料2	8		ハイケアユニット入院医療管理料2	6	76
A301-3	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	19		脳卒中ケアユニット入院医療管理料	20	130
A301-4	小児特定集中治療室管理料	3		小児特定集中治療室管理料	3	42
A302	新生児特定集中治療室管理料1	20		新生児特定集中治療室管理料1	20	204
	新生児特定集中治療室管理料2	42		新生児特定集中治療室管理料2	43	249
A303	総合周産期特定集中治療室管理料1	30		総合周産期特定集中治療室管理料1	31	186
	総合周産期特定集中治療室管理料2	31		総合周産期特定集中治療室管理料2	31	465
A303-2	新生児治療回復室入院管理料	48		新生児治療回復室入院管理料	49	739
A305	一類感染症患者入院医療管理料	14		一類感染症患者入院医療管理料	14	27
A306	特殊疾患入院医療管理料	2		特殊疾患入院医療管理料	3	7
A307	小児入院医療管理料1	18	62	小児入院医療管理料1	18	2171
	小児入院医療管理料2	51	46	小児入院医療管理料2	52	2185
	小児入院医療管理料3	29	25	小児入院医療管理料3	28	908
	小児入院医療管理料4	99		小児入院医療管理料4	97	2144
	小児入院医療管理料5	12		小児入院医療管理料5	11	1815
A308	回復期リハビリテーション病棟入院料1	32	36	回復期リハビリテーション病棟入院料1	30	1613
				回復期リハビリテーション病棟入院料2	8	359
	回復期リハビリテーション病棟入院料2	37	39	回復期リハビリテーション病棟入院料3	29	1217
				回復期リハビリテーション病棟入院料4	6	282
	回復期リハビリテーション病棟入院料3	8	8	回復期リハビリテーション病棟入院料5	3	118
				回復期リハビリテーション病棟入院料6	3	99
A308-3	地域包括ケア病棟入院料1	128	134	地域包括ケア病棟入院料1	26	1204
				地域包括ケア病棟入院料2	132	6365
	地域包括ケア病棟入院料2	23	25	地域包括ケア病棟入院料3	2	45
				地域包括ケア病棟入院料4	2	62
	地域包括ケア入院医療管理料1	66		地域包括ケア入院医療管理料1	23	439
				地域包括ケア入院医療管理料2	55	938
	地域包括ケア入院医療管理料2	13		地域包括ケア入院医療管理料3	2	33
				地域包括ケア入院医療管理料4	1	10
	地域包括ケア病棟入院料1（特定地域）	1		地域包括ケア病棟入院料1（特定地域）		
				地域包括ケア病棟入院料2（特定地域）		
	地域包括ケア病棟入院料2（特定地域）	1		地域包括ケア病棟入院料3（特定地域）		
				地域包括ケア病棟入院料4（特定地域）		
	地域包括ケア入院医療管理料1（特定地域）			地域包括ケア入院医療管理料1（特定地域）		
			地域包括ケア入院医療管理料2（特定地域）			
地域包括ケア入院医療管理料2（特定地域）			地域包括ケア入院医療管理料3（特定地域）			
			地域包括ケア入院医療管理料4（特定地域）			
A309	特殊疾患病棟入院料1			特殊疾患病棟入院料1		
	特殊疾患病棟入院料2			特殊疾患病棟入院料2		
A310	緩和ケア病棟入院料	63	63	緩和ケア病棟入院料1	57	1145
				緩和ケア病棟入院料2	9	152
A311	精神科救急入院料1	25	36	精神科救急入院料1	26	1581
	精神科救急入院料2			精神科救急入院料2		
A311-2	精神科急性期治療病棟入院料1	16	16	精神科急性期治療病棟入院料1	18	785
	精神科急性期治療病棟入院料2			精神科急性期治療病棟入院料2		
A311-3	精神科救急・合併症入院料	8	8	精神科救急・合併症入院料	8	344
A311-4	児童・思春期精神科入院医療管理料	16	18	児童・思春期精神科入院医療管理料	17	668
A312	精神療養病棟入院料	3	3	精神療養病棟入院料	2	97
A314	認知症治療病棟入院料1	2	2	認知症治療病棟入院料1	2	100
	認知症治療病棟入院料2			認知症治療病棟入院料2		
A317	特定一般病棟入院料1	1	1	特定一般病棟入院料1	1	42
	特定一般病棟入院料2	1	1	特定一般病棟入院料2		
A318	地域移行機能強化病棟入院料			地域移行機能強化病棟入院料		

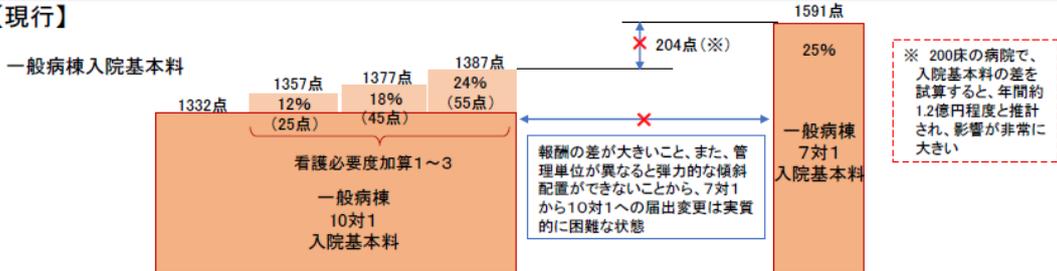
## 参考資料（各入院料の再編・統合イメージ）

出典：「平成30年度診療報酬改定の概要」（平成30年3月5日版）厚生労働省保険局医療課

平成30年度診療報酬改定 I-1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価⑤ (1)急性期医療

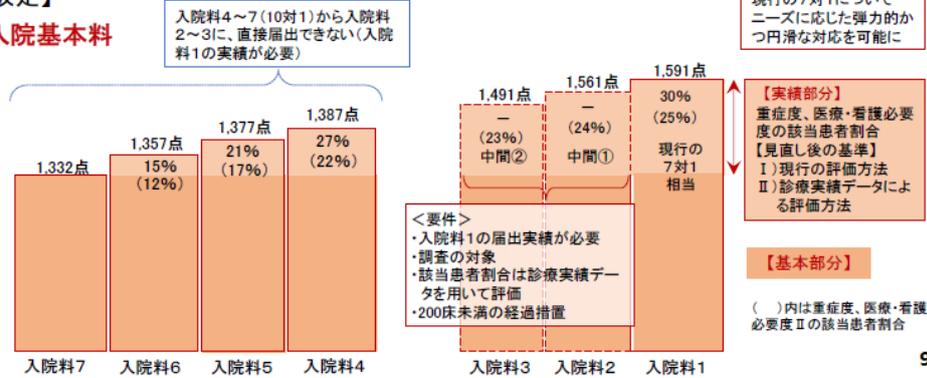
### 一般病棟入院基本料(7対1、10対1)の再編・統合のイメージ

【現行】



【平成30年度改定】

急性期一般入院基本料

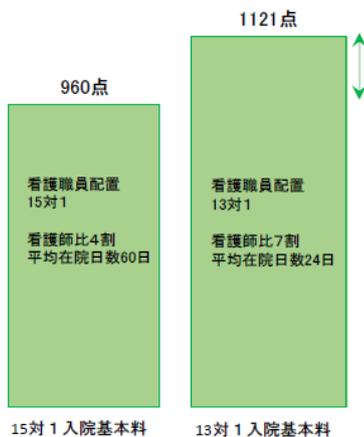


9

平成30年度診療報酬改定 I-1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価⑤ (2)急性期医療～長期療養

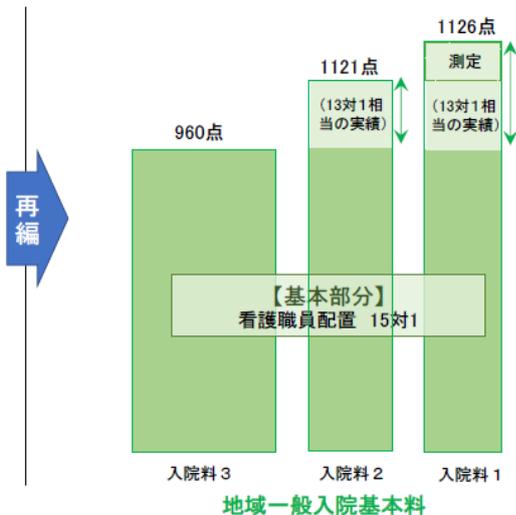
### 一般病棟入院基本料(13対1、15対1)の再編・統合のイメージ

【現行】



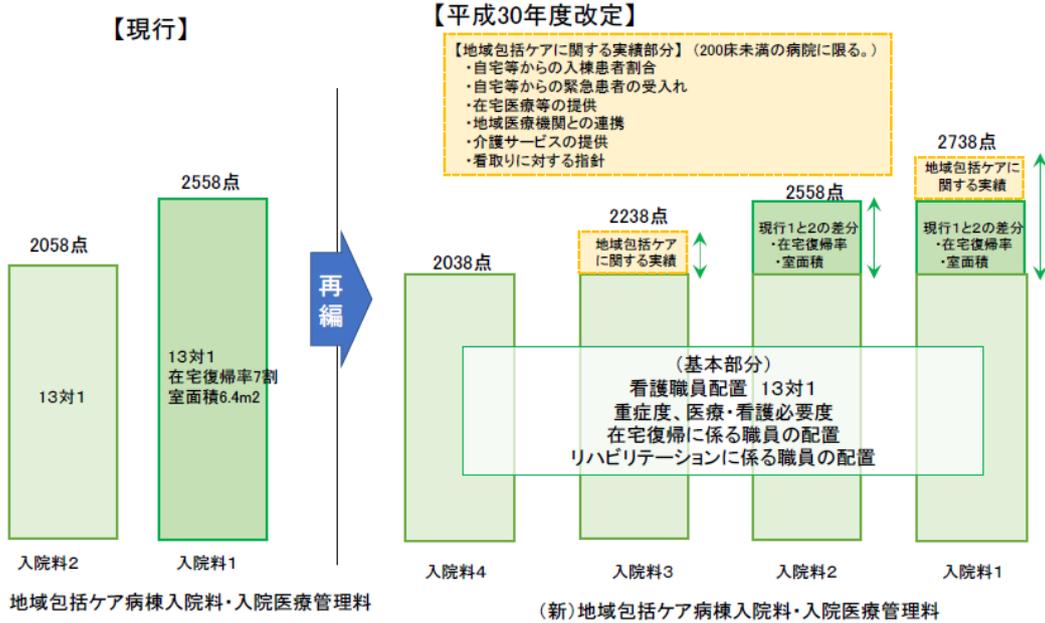
【平成30年度改定】

【実績部分】  
・現行の13対1入院基本料相当の実績  
・重症度、医療・看護必要度の測定  
(※ 段階的な評価に用いる指標については、改定後にさらに検討)



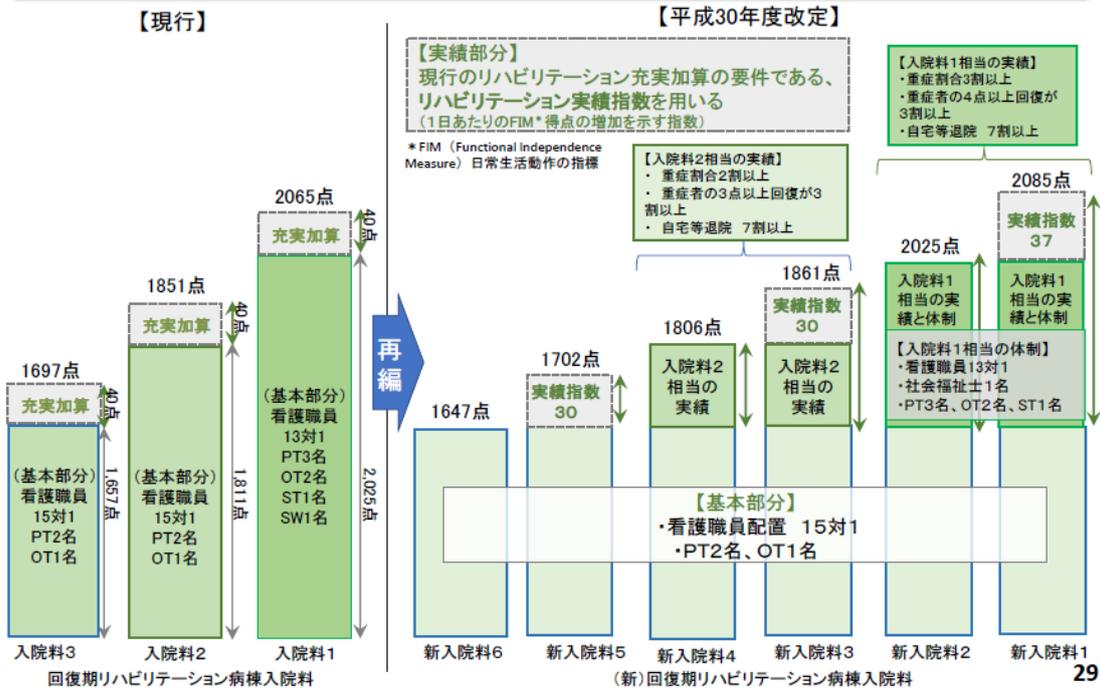
19

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の再編・統合のイメージ



23

### 回復期リハビリテーション病棟入院料の再編・統合のイメージ



29

療養病棟入院基本料の再編・統合のイメージ

